

インフルエンザ流行の対応について

インフルエンザの流行期となりました。本校でも年明けよりインフルエンザにかかった生徒が増えてきました。3年生は受験を控えた大事な時期でもありますので、校内での蔓延防止のためにも、次のことにご理解・ご協力をよろしくお願いします。

1 予防のために

- ・せき、くしゃみ、のどの痛みなどの症状がある場合、人混みに出かける場合はマスクを着用してください。
- ・帰宅時や食事前には手洗い、うがいをしてください。
- ・家族及び、クラス、部活動、友人等でインフルエンザにかかった人がいる場合は感染する可能性が高くなります。体温測定や健康状態の観察を行い、インフルエンザが疑われる症状がある場合は登校を控えて医療機関へ受診をしてください。

【インフルエンザが疑われる症状】

- 急な発熱（特に38度以上の高熱）、寒気、関節痛、体のだるさ、頭痛、咳、鼻水、鼻づまり、咽頭痛

2 体調の悪い人は

- ・体調不良の人（特に熱っぽい人）は、登校前に体温を測定してください。
- ・37.5℃以上の発熱がある場合は、登校を控えて休養をしてください。風邪薬や解熱剤などで無理に熱を下げて登校することは避けて医療機関へ受診をしてください。
- ・受診の結果、インフルエンザ等の学校感染症ではなかった場合、登校が可能な状態になってから登校してください。
- ・せき、くしゃみ、のどの痛みなどの症状がある場合は、マスクを着用してください。

3 インフルエンザにかかった場合

- ・発症後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまでが出席停止期間となります。
- ・「学校感染症の診断書及び証明書」を医療機関で記入していただき、学校に提出してください。証明書は学校のHPからダウンロードできます。保健室にもあります。